

日本鳥学会 2007年度大会プログラム



2007年9月21日～25日
熊本大学黒髪キャンパス

日本鳥学会 2007 年度大会プログラム

会期 9月21日(金) 自由集会
 9月22日(土) 口頭発表、ポスタートーク、ポスター発表、自由集会
 9月23日(日) ポスター発表、総会、大会シンポジウム、懇親会
 9月24日(月) ミニシンポジウム、口頭発表、自由集会
 9月25日(火) エクスカーション

会場 熊本大学黒髪キャンパス 〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1
 大会シンポジウム・総会会場：百周年記念会館
 ミニシンポジウム・研究奨励賞発表会場：工学部2号館 223 講義室
 口頭発表 A 会場：工学部2号館 223 講義室
 口頭発表 B 会場：工学部2号館 232 講義室
 ポスター会場 ポスター展示：工学部2号館ホールおよび214 講義室
 ポスタートーク：工学部2号館 223 講義室
 自由集会：工学部講義室
 懇親会：学生会館・熊本大学生協中央食堂

日程

	21日(金)	22日(土)	23日(日)	24日(月)	25日(火)
9					エクスカーション
10		口頭発表	ポスター発表	ミニシンポ	
11					
12		昼休み	昼休み		
13		昼休み	昼休み	昼休み	
14		口頭発表	総会	自由集会	
15		研究奨励賞発表 ポスタートーク	大会 シンポ ジウム		
16		ポスター発表			
17					
18					
19	自由集会	自由集会	懇親会		
20					
21					

大会シンポジウム

「希少鳥類から見た南西諸島の生物地理」

オーガナイザー 小高信彦・高木昌興

日時：2007年9月23日（日） 15:00～18:00

場所：熊本大学工学部百周年記念会館

九州から台湾にかけて約1200kmにわたって連なる南西諸島は、トカラ列島、奄美諸島、沖縄島やんばる地域、大東諸島などを中心に、大陸や日本本土には見られない固有鳥類が数多く分布する地域です。本シンポジウムでは、生物地理学上非常に興味深いこの地域で野外調査を進めている研究者からの話題提供をもとに、島における鳥類の進化と個体群の維持に関する問題についての議論を行う予定です。

S01 イントロダクション：移住・定住・島・進化 —南西諸島の鳥類相の特徴を読み解く—
高木昌興（大阪市立大学大学院理学研究科）

S02 中琉球やんばる地域の固有鳥類：地上生活への適応と外来種侵入の影響について
小高信彦（森林総合研究所九州支所）

S03 南西諸島からはみ出してしまったアカヒゲ
関伸一（森林総合研究所九州支所）

S04 Introduction to Birds of Taiwan with Emphasis on the Relation between Taiwan and the Ryukyu Islands.
Hsu Yu-Cheng（台湾国立東華大学自然資源管理研究所）

コメンテーター

樋口広芳（東京大学大学院農学生命科学研究科）

藤岡正博（筑波大学大学井川演習林）

梶田学

ミニシンポジウム

「島の鳥」

日時：2007年9月24日（月） 9:00～12:15

場所：熊本大学工学部2号館 223講義室

熊本大会では、公募型のミニシンポジウム「島の鳥」を企画いたしました。大会シンポジウムと連動する形で、島という環境に着目して行われている多様な研究に関心を深めていただくことを目的としています。お二人のコーディネーターにそれぞれテーマを設定していただき、その分野の最新の研究成果をご紹介いただくとともに、今後の研究の展開について議論していただきたいと思います。

(I) ここに地終わり、海始まる

コーディネーター 川上和人 (森林総研)

開始時間	講演番号	演題
9:00	S11	南硫黄島からの手紙 ○川上和人・鈴木創・千葉勇人・堀越和夫
9:15	S12	伊豆・小笠原諸島における鳥類のウモウダニ相 ○黒木知美・川上和人・長堀正行
9:30	S13	コアホウドリの歩きかたと首の振りかたについて ○藤田祐樹・川上和人
9:45	S14	小笠原諸島東島におけるセグロミズナギドリの繁殖確認 ○鈴木創・堀越和夫
10:00	S15	小笠原諸島聳島におけるクロアシアホウドリの人工飼育 ○出口智広・原田知子・栄村奈緒子・油田照秋・鈴木創・尾崎清明・ Judy Jacobs
10:15		総合討論
10:30		休憩

(II) 島状に分布する鳥の系統地理

コーディネーター 西海功 (国立科学博物館)

開始時間	講演番号	演題
10:45	S21	系統地理分析により推定されたウチヤマセンニュウのリス氷期における集団拡大 ○西海功・永田尚志・斎藤大地・斎藤武馬・Sergey Surmach・茂田良光・金昌會
11:00	S22	コアジサシの系統地理 解像度の低いネットワーク樹から分散と分断を区別できるか ○染谷さやか・西海功・樋口広芳
11:15	S23	伊豆諸島および周辺本土に生息するヤマガラ3亜種の遺伝的集団構造 ○藤田薫・西海功・樋口広芳
11:30	S24	スズメの島嶼個体群の遺伝的分化 ○泉洋江・長谷川理・東正剛
11:45	S25	ヨーロッパおよび日本に島状に分布するライチョウの遺伝的研究 ○馬場芳之
12:00		総合討論

研究奨励賞発表

F1 ウミネコにおける内分泌物質による Maternal effects の検出

富田直樹 (大阪市立大)

日時：2007年9月22日(土) 15:00~15:30

場所：熊本大学工学部2号館 223講義室

口頭発表

9月22日A会場

開始時間	講演番号	演題 (○：演者)
9:00	A-1-01	北海道における2006年のスズメ減少とその後 ○黒沢令子・長谷川理・泉洋江・竹中万紀子
9:15	A-1-02	亜種ヒヨドリの越冬場所への移動と果実の豊凶：屋久・奄美・沖縄での5年間の調査から ○野間直彦・濱田知宏・辻野亮・山口恭弘
9:30	A-1-03	東アジアにおけるマガモとオナガガモの春の渡り ○樋口広芳・植田睦之・高木憲太郎・藤田祐樹・時田賢一・Jerry Hupp・John Pearce・Paul Flint・嶋田哲郎・内田聖・呉地正行・今野怜・奥山美和・渡辺ユキ・森下英美子・馬田勝義・長雄一・平岡恵美子・土方直哉・藤田剛
9:45	A-1-04	ガン類餌資源としての転作大豆の意義：宮城県北部での解析 ○嶋田哲郎・溝田智俊
10:00	A-1-05	宮城県蕪栗沼周辺における夏期のサギ類の「ふゆみずたんぼ」の利用 呉地正行・○鈴木康
10:15	A-1-06	ケリの繁殖地としての水田一擾乱の影響 ○脇坂英弥・中川宗孝・伊藤雅信・江崎保男
10:30	A-1-07	鳥類の生息地として相補的にはたらく水田地帯の景観要素 ○天野達也・楠本良延・山本勝利
10:45	A-1-08	関東南部におけるヒバリ <i>Alauda arvensis</i> の生息適地評価モデル ○佐々木茂樹・松田裕之
11:00	A-1-09	河川物理がもたらす砂州の砂礫分布から見たチドリ類3種の共存機構 山岸哲・○松原始・平松山治・鷺見哲也・江崎保男
11:15	A-1-10	落葉広葉樹林の竹林化が鳥類に及ぼす影響～京阪奈丘陵での越冬期調査結果～ ○中津弘・前中久行・夏原由博
11:30	A-1-11	分断化された森林に生息するアカゲラの繁殖個体群パラメータの推定 ○森さやか

- 11:45 A-1-12 分散が制限された島嶼性モズの死亡パターンの雌雄差
○松井晋・日阪万里子・西敬子・土屋祐子・高木昌興
- 12:00 昼休み
- 13:00 A-1-13 ウグイスの対托卵行動：ホトトギスの渡来と巣防衛の強化
○濱尾章二
- 13:15 A-1-14 オーストラリアのミドリカッコウ類と宿主の共進化に関する研究 (1)研究の背景と展望
○上田恵介・Yeni Mulyani・Richard Noske
- 13:30 A-1-15 オーストラリアのミドリカッコウ類と宿主の共進化に関する研究 (2) : アカメテリカッコウ *Chrysococcyx minutillus* と宿主のセンニョムシクイ類 2 種の托卵をめぐる攻防
○徳江紀穂子・佐藤望・上田恵介・Richard Noske
- 13:45 A-1-16 オーストラリアのミドリカッコウ類と宿主の共進化に関する研究 (3) 宿主のセンニョムシクイ類 2 種の巣の形態と営巣場所選択に関する野外実験
○佐藤望・森本元・山口典之・三上修・江口和洋・上田恵介
- 14:00 A-1-17 ハイガシラゴウシュウマルハシのヘルパーが得る間接的利益と血縁構造
○河野かつら・江口和洋・高木昌興・上田恵介・山口典之
- 14:15 A-1-18 ツバメ雛の begging の激しさは何によって決まるか
○北村亘・藤田剛・樋口広芳
- 14:30 A-1-19 コガラが餌場で鳴く理由
○鈴木俊貴
- 14:45 A-1-20 非斉一孵化種ジュウシマツにおける母性効果と身体および歌発達の関連
○相馬雅代・長谷川真理子・岡ノ谷一夫

9月22日B会場

- | 開始時間 | 講演番号 | 演題 (○：演者) |
|------|--------|---|
| 9:00 | B-1-01 | シロガシラ音声の地理的変異の解析
○中村和雄 |
| 9:15 | B-1-02 | 波照間島のカラスは何者か？ -mtDNA コントロール領域の解析
○山崎剛史・上開地広美 |
| 9:30 | B-1-03 | 阿蘇のコジュリンは、本州のコジュリンと同じか？
○永田尚志・田中忠 |
| 9:45 | B-1-04 | ミトコンドリア DNA による日本産オオタカの遺伝的構造
○浅井芝樹・阿子島大輔・茂田良光・山本義弘・百瀬浩 |

- 10:00 B-1-05 希少鳥類のミトコンドリアゲノムプロジェクト
○山本義弘・浅井芝樹・山岸哲
- 10:15 B-1-06 日本に生息するブッポウソウの遺伝的多様性と集団間の遺伝的距離
○熊野彩・葦原沙都子・中村浩志
- 10:30 B-1-07 長野県と新潟県におけるブッポウソウの繁殖分布の消長
○田畑孝宏・中村浩志・渡辺央
- 10:45 B-1-08 ブッポウソウの育雛後期における給餌活動と餌内容
○松田賢・長谷川匡弘・畑本英信・上野吉雄
- 11:00 B-1-09 育雛期の雛への餌がカワウの繁殖に与える影響
○井上裕紀子・藤井英紀・新妻靖章・綿貫豊
- 11:15 B-1-10 斃死ヤンバルクイナの胃内容物分析
○平岡考・尾崎清明・黒住耐二・中村泰之・野間直彦・亘悠然哉
- 11:30 B-1-11 ライチョウの営巣環境選択
○澤祐介・中村浩志
- 11:45 B-1-12 LTとPCによるヤマドリの個体数推定
○川路則友・黒田治男・村上亮
- 12:00 昼休み
- 13:00 B-1-13 Using candling technique to estimate hatching date: an example using Common Goldeneyes (*Bucephala clangula*)
○佐藤真弓・久松美喜夫
- 13:15 B-1-14 飼育下のエトピリカのヒナはどのように巣立ちを決めているか (予報)
○福田道雄・濱外晴美・山口番子
- 13:30 B-1-15 カメラロガー (DSL) によるヨーロッパヒメウのマイクロハビタット利用と採食行動
○綿貫豊・F Daunt・高橋晃周・M Newell・S Wanless・佐藤克文・宮崎信之
- 13:45 B-1-16 2007年・大阪湾岸で繁殖したベニアジサシ *Sterna dougallii* の観察記録
○風間美穂・中村進
- 14:00 B-1-17 カンムリウミスズメの非繁殖期の生息域と幼鳥の成育域の発見
○飯田知彦
- 14:15 B-1-18 ルリカケス (*Garrulus lidthi*) の繁殖生態 (I)~営巣環境、スタジイの結果、捕食、との関係~
○石田健・川口和範・高美喜男・鳥飼久裕
- 14:30 B-1-19 ハヤブサのモニタリングおよび保全対策について
竹下卓宏・○東親志

14:45 B-1-20 風力発電機の鳥類の繁殖に対する影響
○武田恵世

9月24日B会場

開始時間	講演番号	演題 (○：演者)
9:00	B-2-01	主成分分析によるニワトリ7品種の比較形態学的研究 ○吉村文孝・山崎健・織田銃一
9:15	B-2-02	ヤマドリの番相手のオスと家族群並びに番相手のメス以外のメスとの関係について ○高橋松人
9:30	B-2-03	優劣関係形成から垣間見えるハシブトガラスの個体認知機能 ○伊澤栄一
9:45	B-2-04	新潟県産駆除カワウの剖検結果と体内ダイオキシン類濃度、特に甲状腺の病像について ○千葉晃・小熊一雄・畠山宏・猪俣勝一・本間隆平
10:00	B-2-05	愛知県矢作川で駆除されたカワウの甲状腺に見られる組織学的変化 ○新妻靖章
10:15	B-2-06	クロツラヘラサギ(<i>Platalea minor</i>)において検出されたコントロール様領域の重複 ○曹炯柱・江田真毅・小池裕子
10:30	B-2-07	古代DNA分析による江戸時代の大名屋敷で供された希少鳥類の同定 ○江田真毅・小池裕子
10:45	B-2-08	広島県の積雪地域におけるクマタカの雛への給餌内容 ○吉津祐子・畑本英信・山田勝美・加藤淳司・上野吉雄
11:00	B-2-09	オオタカ雄幼鳥の定着となわばり確立の過程 ○大堀聰・内田博
11:15	B-2-10	栃木県におけるオオタカ雄成鳥の環境選択 ○堀江玲子・遠藤孝一・山浦悠一・尾崎研一
11:30	B-2-11	繁殖北限域におけるサシバの生息地の環境特性 ○東淳樹・田原一平・熊谷徹
11:45	B-2-12	繁殖期前半におけるハチクマの養蜂場利用について- ある養蜂場での捕獲調査から見えてきたこと - ○堀田昌伸・久野公啓・佐伯元子・木下通彦・細江崇・植松晃岳・中村照男・嶋崎翼・松倉秀樹・植松永至・樋口広芳・平岡恵美子・時田賢一・中村浩志
12:00	B-2-13	国指定天然記念物「十三崖のチョウゲンボウ繁殖地」における平成18年度環境整備とチョウゲンボウの繁殖状況 ○本村健

ポスター発表

9月22日 16:00~18:30: 奇数番号 (但し, P97-99の高校生発表は23日)

9月23日 9:30~12:00: 偶数番号

*ポスターは両日とも展示します

会場: 工学部2号館ホールおよび214講義室

- P-01 数にまつわるエトセトラ: in ジュウイチ v.s.ルリビタキ
○田中啓太・森本元・岡ノ谷一夫・上田恵介
- P-02 都会の鳥のさえずり: 騒音への適応?
○植田睦之
- P-03 デュエットに熱心なシマフクロウの新夫
○早矢仕有子
- P-04 ヤブサメが渡来初期にのみおこなう夜型さえずり活動
○上沖正欣・小川次郎・山本貴仁・上田恵介
- P-05 巣の捕食者・捕食時間帯の特定と捕食されやすい巣の形質の検討
○水田拓
- P-06 コゲラが利用する樹木の特徴
○椎名佳の美・長谷川理・東正剛
- P-07 ツバメの橋下営巣への適応
○神山和夫・平野敏明・黒田治男
- P-08 ツバメの羽色の退色過程
○長谷川克・新井絵美・渡辺守・中村雅彦
- P-09 ツバメのオスの形質とつがい外受精
○小島渉・北村巨・伊藤洋子・北島幸恵・藤田剛・上田恵介・樋口広芳
- P-10 ツバメは、前年の配偶者を待たない
○新井絵美・長谷川克・中村雅彦
- P-11 ダイトウコノハズクのなわばり個体の入れ替わりと繁殖成績の関係
○赤谷加奈・松尾太郎・高木昌興
- P-12 ダイトウメジロ幼鳥における換羽進行と血液学的健康状態
○堀江明香・松井晋・西敬子・松尾太郎・土屋祐子・高木昌興
- P-13 オーストラリア熱帯モンスーン域におけるセアカオーストラリアムシクイの協同繁殖グループ
○高木義栄・江口和洋・上田恵介・西海功・Richard Noske
- P-14 ナミエヤマガラ羽色の羽色変異に浸透交雑がおよぼす影響
○山口典之・齋藤大地
- P-15 中国双台河口で標識されたズグロカモメの生存状況
○武石全慈・岡部海都・尾崎清明・米田重玄・花輪伸一・李玉祥・邱英杰・侯韵秋・小野勇一

- P-16 ヒドリガモの渡り衛星追跡
○平岡恵美子・藤田祐樹・土方直哉・樋口広芳
- P-17 ハチクマの春秋の渡り衛星追跡—10羽の成鳥の記録—
○時田賢一・藤田祐樹・平岡恵美子・植松晃岳・久野公啓・佐伯元子・内田聖・中山文仁・高橋誠・堀田昌伸・中村浩志・山口典之・樋口広芳
- P-18 イイジマムシクイの非繁殖地における記録と、渡りと越冬に関する考察
○渡部良樹・中道暁美・小林靖英・小倉豪・Fergus Crystal
- P-19 2004年から2006年におけるヒヨドリの秋季の渡りと年による違い
○山口恭弘
- P-20 排泄物分析による渡り鳥の種子散布行動解析
○松平有加・大河原恭祐・佐藤文男・米田重玄・木村一也
- P-21 スギ人工林への種子散布に関わる果実食性鳥類
○平田令子・畑邦彦・曾根晃一
- P-22 越冬期におけるガンカモ類の生息場所の特性
○浦達也・山田泰広・金井裕・加藤和明
- P-23 水辺の身近な野鳥ガンカモ類をテーマとした学習教材：ガンカモ・ティーチャーズガイド
○大畑孝二・原田修・田尻浩伸・斉藤充
- P-24 ふゆみずたんぼにおけるカモ類の夜間利用
○香川裕之・斎藤肇
- P-25 マガンの飛来は宮島沼の水質を悪化させているのか？
○中村雅子・牛山克巳・相崎守弘
- P-26 越冬地におけるマガンの遺伝的構造
○森口紗千子・江田真毅・天野達也・牛山克巳・藤田剛・樋口広芳
- P-27 急速な分布拡大の過程で、カワウの遺伝的構造はどう形成されたか？
○長谷川理・石垣麻美子・福田道雄・新妻靖章・東正剛
- P-28 中海に生息するカワウ個体群の繁殖状況の変遷と季節による生息状況の違い
○神谷要・森茂晃・桐原佳介
- P-29 関東地域のカワウの平均巣立ちヒナ数
○加藤ななえ
- P-30 新潟県におけるカワウの生息分布と繁殖の概況
○渡辺央・本間隆平・千葉晃
- P-31 個体数抑制のためのカワウ繁殖コロニー管理
○坪井潤一・桐生透・岩間貴司・石黒輝雄・阿部正人・宮本博永・萩原茂
- P-32 厳冬期におけるタンチョウ就壻場所と天候との関係
○古賀公也
- P-33 北海道におけるタンチョウ個体群のシミュレーションによる絶滅リスク
○正富欣之・正富宏之

- P-34 埼玉県でのコサギの越冬個体の減少要因を探る
○内田博
- P-35 複数の空間スケールにおけるチュウサギの採食個体分布パターン
○片山直樹・天野達也・藤田剛・樋口広芳
- P-36 兵庫県におけるサギ類コロニーの分布とその形成要因
○遠藤菜緒子・奥野俊博・新田朋子・江崎保男
- P-37 宮城県蕪栗沼周辺における夏期のサギ類の動向
○呉地正行・鈴木康
- P-38 境川遊水地におけるサギ類の生息利用実態からみた遊水地整備に関する考察
○清島千鶴江・吉田博宣・葉山嘉一
- P-39 多摩川中流域におけるアオサギの繁殖の動向
○白井剛
- P-40 ミゾゴイの繁殖行動と生息地の保全
○川名国男
- P-41 ミヤマガラスの個体数分布の季節変化
○高木憲太郎・今森達也・江田伸司・佐竹清夫・嶋田知英・高橋直子・高橋昌也・富永誠・長嶋宏之・平野敏明・深瀬徹・福島英樹・松下彩二・松永紀代子・松原始・三浦淳男・武藤幹生・森茂晃・森下英美子・山本貴仁・吉野智生
- P-42 農村におけるカラス類2種の繁殖状況の年変動
○吉田保志子・百瀬浩
- P-43 北京市街地におけるカササギの営巣分布（予報）
○橋本啓史
- P-44 日本におけるヒクイナの生息状況
○平野敏明・植田睦之
- P-45 北海道天売島におけるウミガラス保護対策～デコイと音声装置による誘引～
○彦坂清子・中田洋介・新村靖
- P-46 シマフクロウの繁殖成功率とその阻害要因
竹中健・○高田令子・大野信明
- P-47 自動温度記録装置を用いたフクロウの繁殖状況の推定
○村濱史郎・那須義次・松室裕之
- P-48 霞ヶ浦周辺におけるコブハクチョウの繁殖状況
○土屋結・藤岡正博
- P-49 アオハクガン(*Anser caerulescens*, blue phase)の国内初記録
○佐場野裕・上村佐知子・呉地正行
- P-50 小笠原諸島聳島における鳥類の生息状況
○栄村奈緒子
- P-51 甌島列島における希少鳥類の生息状況
○溝口文男

- P-52 四国地域におけるチメドリ科外来鳥類の定着実態
○佐藤重穂・濱田哲暁・山本貴仁
- P-53 神奈川県におけるガビチョウの分布変化について
○加藤ゆき
- P-54 横浜自然観察の森における21年間の鳥類相の変化
○柴田英美・藤田剛・古南幸弘・大屋親雄・東陽一・中里直幹・玉田知穂・篠原由紀子・藤田薫
- P-55 石狩平野南西部農耕地帯の鳥類(1993~2007)
○竹中万紀子・竹中踐
- P-56 都市及び都市近郊の二次林(落葉広葉樹林)におけるアズマネザサの生育状況の違いと鳥類の利用について
○吉田元臣・吉田博宣・葉山嘉一
- P-57 都会の鳥と田舎の鳥:個体数と種数の比較
○三上修・河野かつら
- P-58 ホオジロの個体数の季節変化と繁殖地への執着性
○手井修三
- P-59 本州におけるツツドリのウグイスへの托卵
○東條一史・中村秀哉
- P-60 キジの地域絶滅
○林暁央
- P-61 有明海における干潟性鳥類の利用様式と広域的な行動圏のまとめ
○塚原和之・滝川清・田淵幹修・園田吉弘
- P-62 印旛沼におけるシギ・チドリ類の生息状況
○桑原和之・箕輪義隆・小田島高之・長島充・奴賀俊光
- P-63 オオミズナギドリの異なる餌環境に対応した採食行動パターン
○松本経・越智大介・綿貫豊・武藤文人・佐藤崇・岡奈理子
- P-64 育雛期におけるクロアシアホウドリの食性と帰巣パターン
○原田知子・出口智広・綿貫豊
- P-65 カワウ *Phalacrocorax carbo* の胃内容物の性差
○藤井英紀・新妻靖章
- P-66 東かがわ市のため池で見られた陸ガモの潜水採餌
○滝朋子
- P-67 育雛期のカムリカイツブリ (*Podiceps cristatus*) の餌利用
○高谷了・佐原雄二
- P-68 兵庫県豊岡市円山川下流域に生息する野生コウノトリの採食行動:湿地と水田の比較
○武田広子
- P-69 溜池におけるカワセミ (*Alcedo atthis*) の採餌生態
○鈴木晶子・佐原雄二

- P-70 千曲川中流域で繁殖するカワセミとヤマセミの Food-niche segregation
○笠原里恵・加藤和弘
- P-71 ヤイロチョウの環境選択に及ぼす餌生物の影響
○南谷幸雄
- P-72 ブッポウソウの雛に給餌された餌内容の2地域間比較
○峯光一・中村浩志・遠藤裕久・丸山健司・奥島雄一
- P-73 スズメはどのような鱗翅目昆虫をどのように捕らえるのか
○櫻井麗賀
- P-74 モズのハヤニエにみられる性差
○茂木康寛
- P-75 ユリカモメ (*Larus ridibundus*) の幼鳥は埒地での給餌によく集まる
○平田和彦
- P-76 人工衛星によるオオタカの行動追跡 (第二報)
阿部學・○常永秀晃
- P-77 ミサゴの繁殖生態・採餌環境・食性
○阿部學・藤崎稔彦・野口将行
- P-78 チョウゲンボウの河川に沿った繁殖分布に影響を与える環境要因
○今井絢子・加藤和弘
- P-79 北上高地におけるイヌワシの出現頻度と植生タイプの関係
○前田琢・由井正敏
- P-80 福岡県におけるサシバの営巣例
○伊関文隆
- P-81 ツミ繁殖巣の造られ方-はじめの1本は誰が置く? (暫定版) -
○畑隆弘
- P-82 阿寒白糠内陸部におけるオジロワシとオオワシの飛来状況と鉛中毒
○玉田克巳・宇野裕之・車田利夫・菅原晴美
- P-83 琵琶湖竹生島産カワウから検出された水酸化PCBs
○志岐勇馬・長谷川淳・松田宗明・須藤明子・河野公栄・森田昌敏
- P-84 ニホンライチョウのロイコチトゾーン感染個体における血液検査値
○玉田明日美・萩原未央・中村浩志・中村雅彦・肴倉孝明・山口剛士・村田浩一
- P-85 ヤンバルクイナに認められた血液原虫の形態および分子系統
○佐々木絵美・梅津華子・萩原未央・長嶺隆・天野洋祐・大沼学・桑名貴・村田浩一
- P-86 環境温度の変化がニホンライチョウのコクシジウム感染に及ぼす影響
○市川陽子・東條裕子・永井理菜・村田浩一
- P-87 糞中ステロイドホルモンの抽出法の比較
○佐藤恵・柳沼千春・富田直樹・塩谷正勝・若林修一・酒井秀嗣
- P-88 ウミネコ *Larus crassirostris* における年齢とテロメアの関係
○水谷友一・富田直樹・高橋弘樹・長谷川理・新妻靖章

- P-89 ウズラにおけるつつきの順位と個体の生理的特性
○牛島明美・新妻靖章
- P-90 クマゲラの音声に対するキツツキ類の反応
○雲野明
- P-91 ハシブトガラスにおける鳴き声にもとづく個体弁別の検証
○近藤紀子・伊澤栄一・渡辺茂
- P-92 カラスにおける成長に伴う鳴き声の変化について
○岩上枝里子・塚原直樹・青山真人・杉田昭栄
- P-93 ハシボソガラスの鳴管筋の分類および走行の分析
○中柳翔介・塚原直樹・青山真人・杉田昭栄
- P-94 ハシブトガラス鳴管筋の分類および付着様式
○塚原直樹・楊茜・青山真人・杉田昭栄
- P-95 マガモの成長に伴う鳴き声と鳴管の形態変化の関連について
○中村俊治・篠原武志・塚原直樹・青山真人・杉田昭栄
- P-96 羽におけるハシブトガラスとハシボソガラスの種差の検討
○李銀玉・米澤ちひろ・青山真人・杉田昭栄

高校生発表

- P-97 熊本市及びその周辺におけるカラス類2種の営巣環境選択性
田邊友恵・本田愛・小牧章吾・米村梨沙・平田和也・星田佳介・西田公美（熊本県立東稜高等学校・指導：坂梨仁彦）
- P-98 アオバスクの生態調査
岡本浩太郎（熊本県立済々黌高等学校・指導：高松安国）
- P-99 ヒメアマツバメとイワツバメの営巣について
西村佳奈・池田美笛・佐藤朋未・福永郁美（熊本県立第一高等学校・指導：長尾圭祐）

* アンダーラインの講演はポスタートークあり（9月22日 15:30～ A会場）

自由集会

9月21日(金) 18:00~20:00

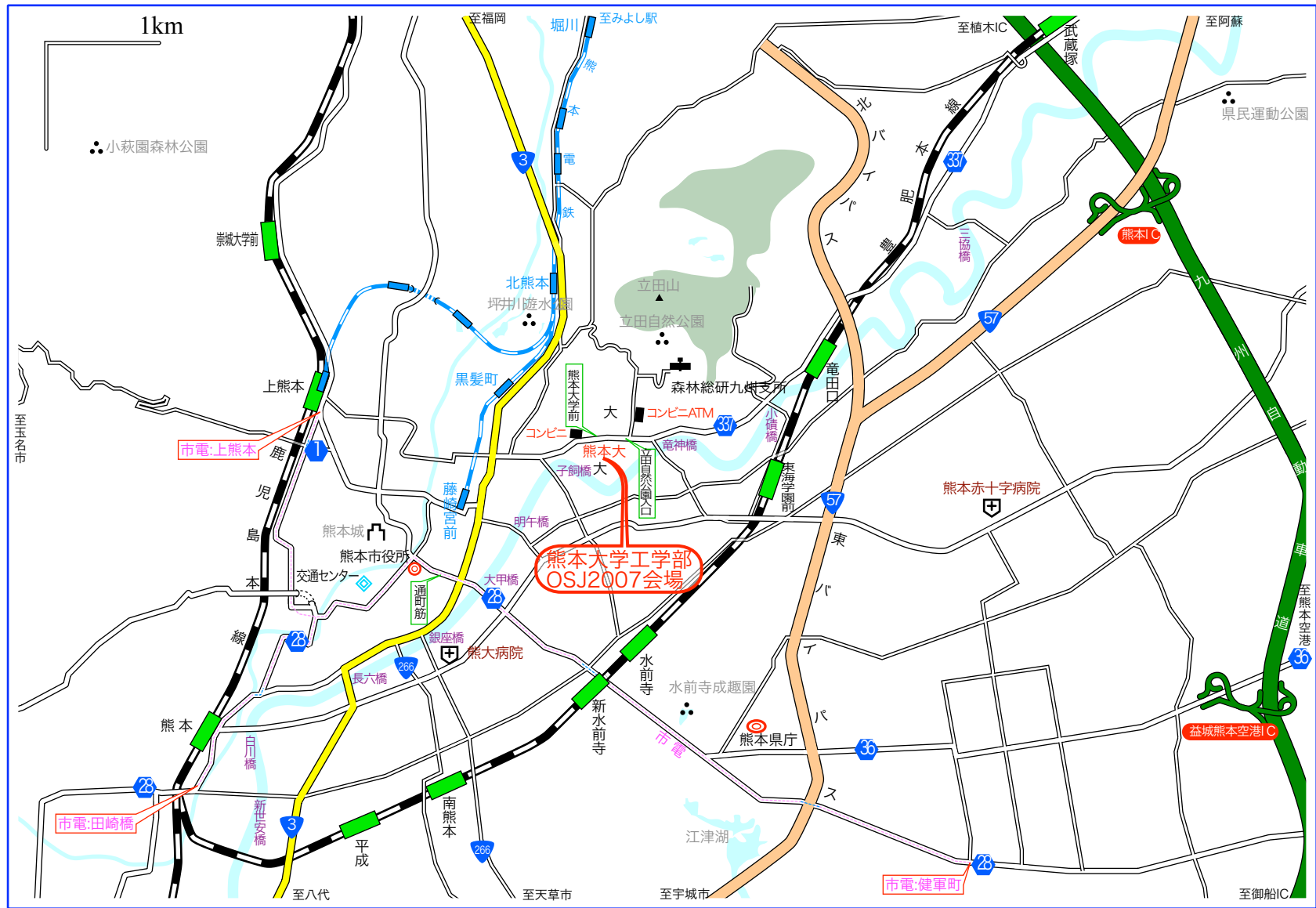
- M1 日本における海鳥の現状と課題V-特に西日本での現状と対策-
企画者：中村豊・藤田泰宏・新妻靖章・綿貫豊(日本海鳥グループ)
会場：工学部2号館221講義室
- M2 JOGA9 東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ(EAAFパートナーシップ)の発足と協力
企画者：神谷要(中海水鳥国際交流基金財団)・呉地正行(日本雁を保護する会)・岸本伸彦((財)日本野鳥の会自然保護室)・須川亘(琵琶湖ラムサール研究会)
会場：工学部2号館222講義室

9月22日(土) 18:30~20:30

- M3 鳥類の餌資源利用~物質循環を念頭に~
企画責任者：嶋田哲郎(宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)・溝田智俊(岩手大学農学部)
会場：工学部2号館231講義室
- M4 ちょっと長めの話を聞く会
世話人：中村雅彦(上越教育大・生物)
会場：工学部2号館221講義室
- M5 実践“R”統計学：Dos & Don'ts と一般化線形混合モデル
企画責任者：田中啓太・森本元・山口典之
会場：工学部2号館222講義室
- M6 ーカワウを通して野生生物と人との共存を考える(その10)ーあたらしい風♪
企画代表者：高木憲太郎(NPO 法人バードリサーチ)
会場：工学部2号館224講義室
- M7 第3回『音声データによる鳥類のモニタリング ADAM(Acoustic Data for Avian Monitoring)』
世話人：石田健・植田睦之
会場：工学部2号館225講義室

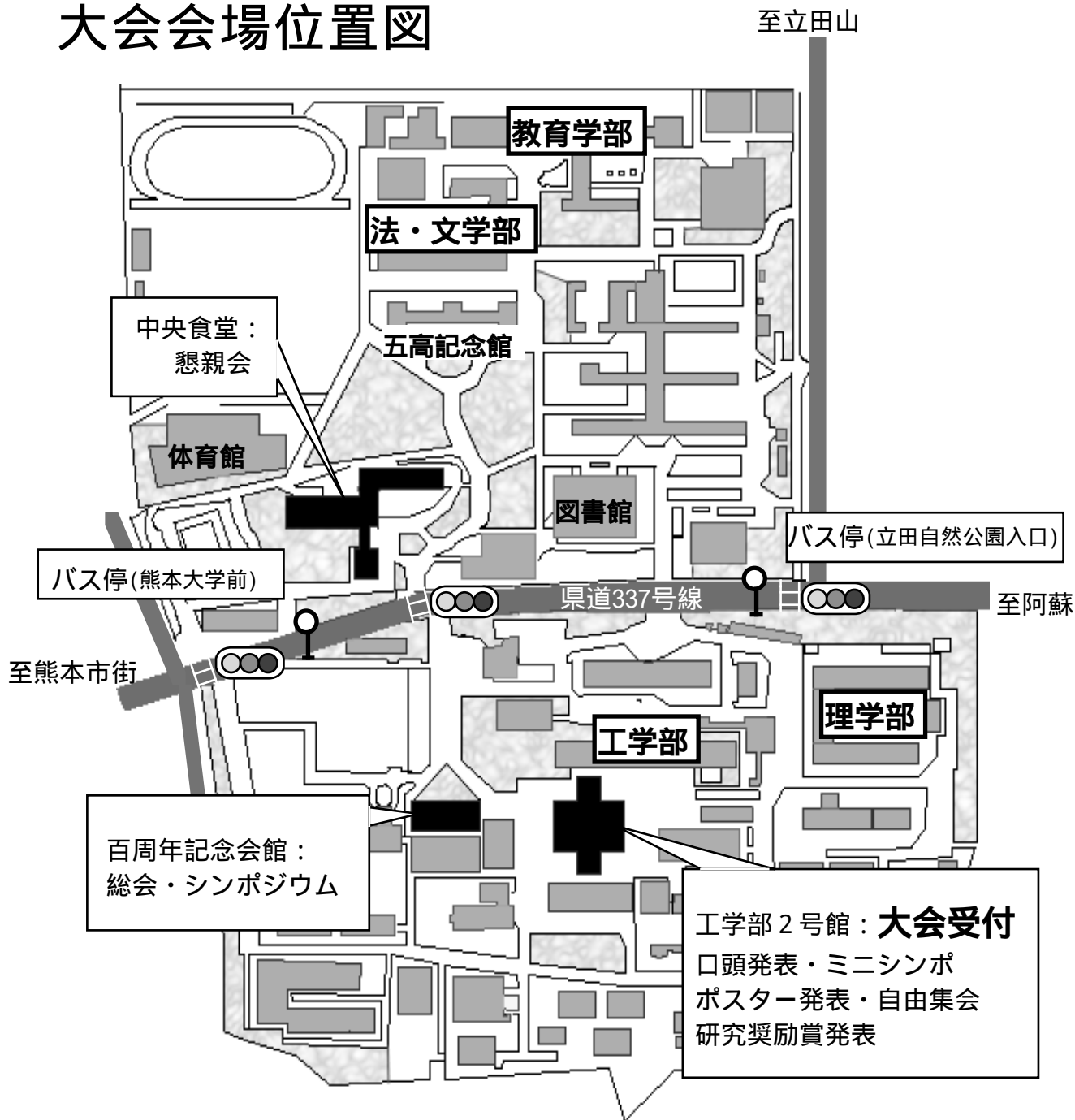
9月24日(月) 13:30~15:30

- M8 高山の鳥は面白い・・・かも?ー日本における高山鳥研究の可能性と展望ー
呼びかけ人：白木彩子・上田恵介
会場：工学部2号館221講義室
- M9 やんばると奄美の森でー琉球列島における固有種保全の取り組みー
企画者：水田拓(環境省奄美野生生物保護センター)・小高信彦(森林総合研究所九州支所)
会場：工学部2号館222講義室
- M10 鳥類モニタリングの可能性を探る
企画責任者：藤田剛・植田睦之・天野一葉
会場：工学部2号館224講義室



熊本大学黒髪キャンパス

大会会場位置図



会場アクセス

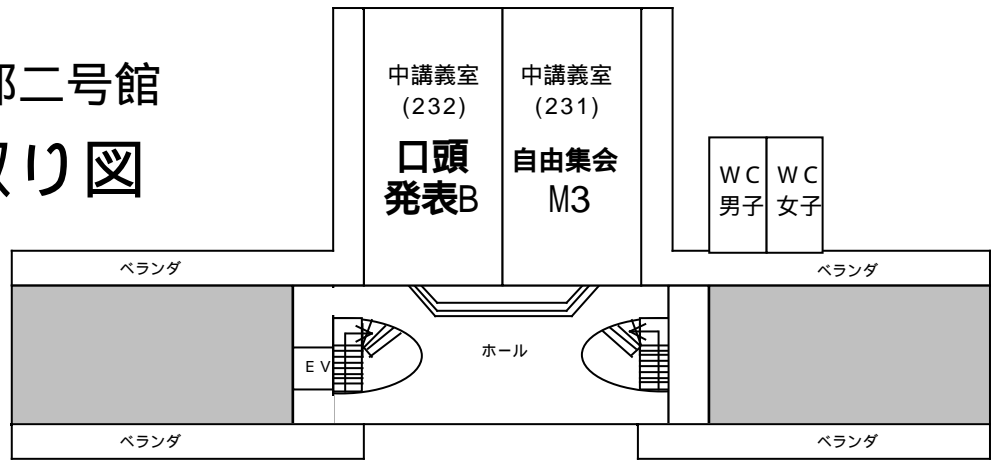
【JR熊本駅から】市営バス第1環状線「子飼橋」下車徒歩10分、産交バス大津方面行き「熊本大学前」下車

【交通センター，市街地（通町筋など）から】市営バス立田口線・楠線、または産交バス大津・武蔵ヶ丘方面行「熊本大学前」下車

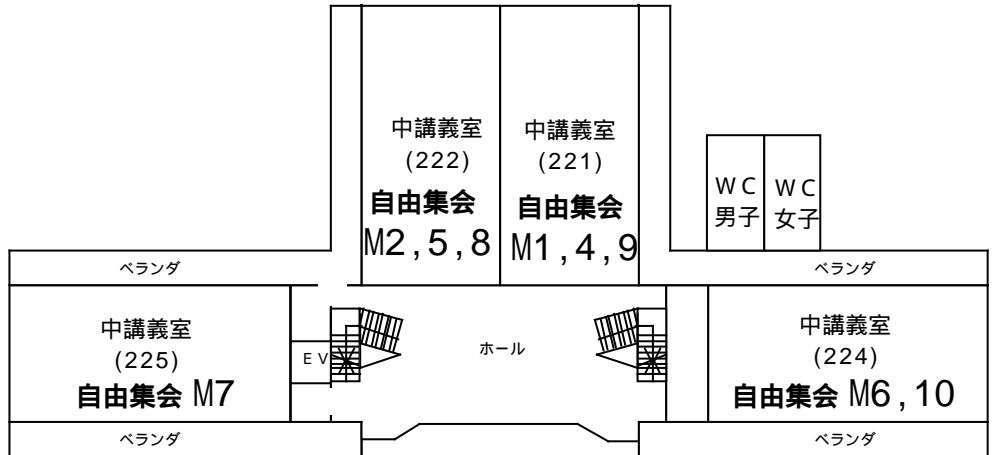
【熊本空港から】空港リムジンバス熊本駅行き「通町筋」乗換、道路反対側のバス停から市営バス立田口線・楠線または産交バス大津・武蔵ヶ丘方面行「熊本大学前」下車

熊本大学工学部二号館 講義室見取り図

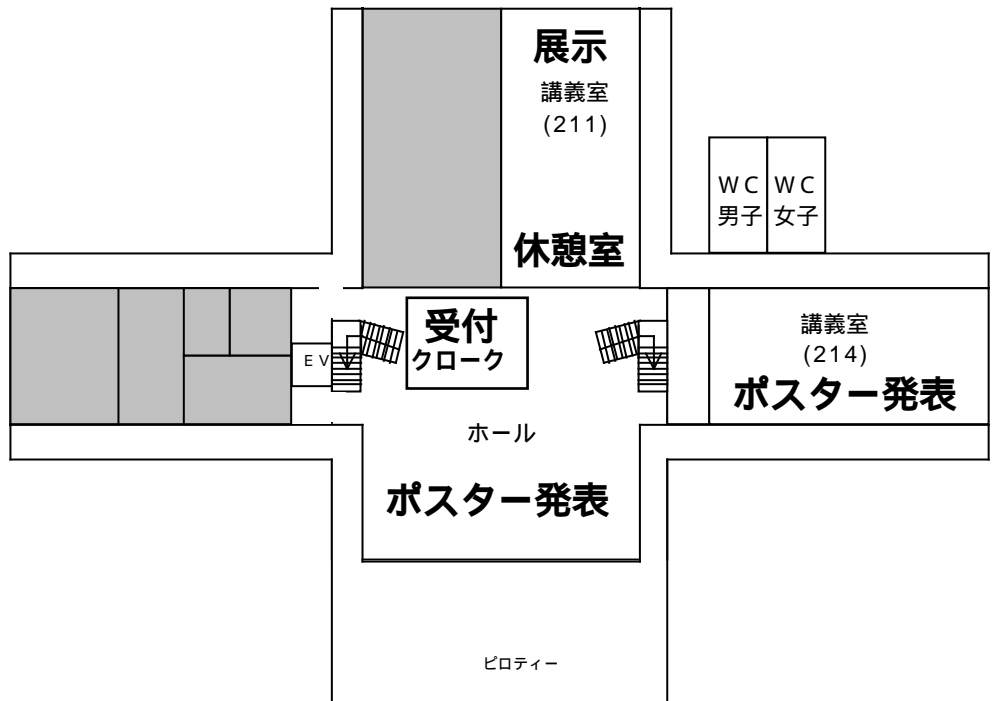
3 F



2 F



1 F



受付・クローク

- 受付を工学部 2 号館正面玄関ホールに設置します。受付時間は 21 日が 16:30 から、22、23、24 日は、8:30 からといたします。受付時に名札をお渡しいたします。大会期間中は名札の着用をお願いします。
- クロークを受付横に設けますのでご利用ください。預かり時間は、22 日は 8:30 から 18:00 まで、23、24 日は 8:30 から 13:00 までです。自由集会、総会、公開シンポジウム、懇親会にはクロークの荷物を引き取ってからご参加ください。

口頭発表・ミニシンポ

- 発表時間 12 分、質疑応答が 2 分 30 秒を厳守してください。発表開始後 10 分で予鈴、12 分で 2 鈴、14 分 30 秒で終鈴を鳴らします。発表には液晶プロジェクターが利用できます。
- 口頭発表をされる方は次の講演の座長をしていただきますので、よろしく願いいたします。
- 発表前日の 18:00 までに大会受付にてファイルを提出してください。

ポスター発表（高校生のポスター発表を含む）

- ポスター番号が奇数の発表は 22 日、偶数の発表は 23 日です。発表者は、時間内はボードの前で解説をお願いします。
- ポスターは両日とも展示可能です。ポスターは、22 日の 11 時からボードに貼ることができます。23 日の遅くとも 13:00 までには片付けてください。画鋏とテープは会場に用意します。
- ポスタートークは、22 日の研究奨励賞発表等終了後、A 会場（223 講義室）で行います。発表時間は 2 分、液晶プロジェクターか OHP を使用することができます。

自由集会

- 自由集会の開催時間は、21 日が 18:00~20:00、22 日が 18:30~20:30、24 日が 13:30~15:30 です。会場の運営と片付けは主催者の責任で行ってください。

展示ブース

- 大会中、業者の展示・販売を行いますので、ご利用ください。

総会

- 23 日（日）の 13:00~14:30 に百周年記念会館で行います。学会員の方は極力出席ください。

昼食

- 22 日（土）はキャンパス内の中央食堂で食事ができます。23 日（日）と 24 日（月）については、事前に弁当を予約され、受付時に代金を払われた方に、11:50 分頃より受付付近で弁当をお渡しします。

そのほか

- 本大会では、講演のビデオ撮影は、演者がビデオ撮影を認めると意思表示されている場合に限り認めています。また、撮影される場合でも周囲の方のご迷惑にならないようにしてください。

日本鳥学会 2007 年度大会

プログラム

2007 年 8 月 27 日発行

編集・発行 日本鳥学会 2007 年度大会事務局

事務局 〒860-0862 熊本県熊本市黒髪4-11-16
森林総合研究所九州支所森林動物研究グループ
Tel : 096-343-3972 Fax : 096-344-5054
e-mail : seki+OSJ2007@affrc.go.jp
URL : <http://www.osj2007.com/>